

まちの話題



交響楽団コンサート



6月20日、(社)鹿児島県教職員共助会主催、市教育委員会共催による「大地の恵を、人が奏でるコンサート in 伊佐」が伊佐市文化会館で開催されました。

これは、市立4中学校の生徒たちに優れた音楽に触れ豊かな心を養ってもらうため催された音楽会で、演奏者として招かれた「鹿児島交響楽団」は、楽器の紹介や生徒を指揮者として参加させるなど、会場一体となったステージをつくり上げました。

生徒代表からは、「伊佐は自然豊かな素晴らしい場所ですが本物の音楽に触れる機会は少ないのでとても有意義でした。」と、お礼の言葉がありました。

縄文人って大変だ



7月3日山野小学校で、「上野原縄文の森」職員指導のもと6年生が“勾玉（まがたま）づくり”、野外活動クラブのメンバーが“火おこし”を体験しました。

勾玉づくりでは、下書きした「滑石（かっせき）」をヤスリで削り、きれいな曲線のオリジナル首かざりを完成させました。

雨を避け渡り廊下で挑戦した火おこし体験は、2人1組でおもり付きの「舞ざり」と呼ばれる道具を必死に動かし続け、想像以上の大変さを体感。ようやく着火すると「ご飯食べるの大変だ」と汗を拭いながら歓声をあげていました。

全国シルバー人材センター功労賞



伊佐市シルバー人材センター

第25回県商工会女性部 ミニバレーボール大会優勝



伊佐市商工会女性部

元祖！頭の体操教室 6 年目開講



平成 19 年から針持校区で始まった「にこにこ頭の体操教室」は 6 年目の今年、20 人の受講生を迎え開講式を行いました。教室での簡単な足し算・本の音読・学習を支援するサポーターとのコミュニケーションは、「脳を鍛える」学習療法として成果をあげています。元気な高齢者が地域で活躍し校区の活性化につながっています。いきいき学ぶ高齢者と支援者でありながら「やりがいと元気ももらっている」と語るサポーター、この取組みは周辺校区にも広がり、現在は、針持校区を含む市内 5 校区で開講、今後新たに 1 校区が加わる予定となっています。

七夕に 11 組のカップル誕生



5 月の第 1 回「いさえん」からわずか 2 か月足らず、要望に応え第 2 回おとなの「いさえん」が、七夕の日に市内のホテルで開かれました。参加者は県内だけでなく福岡・熊本・宮崎などからの男性 47 人・女性 43 人。1 対 1 の自己紹介から屋上ビアガーデンでのフリータイムまで、終始和やかな雰囲気でした。それを影で支える「いさえん実行委員会」のスタッフは、飲み物を運びながら、気になる相手へメッセージも運ぶキューピット役にと大活躍。大成功の勢いそのままに第 3 回も決定！ 8 月 25・26 日に 1 泊 2 日で「十曾こどもの森」体験型「いさえん」を開催予定。幸せをつかみたい人はこちら♥→ <http://www.isa-en.com/>

夏カボチャ味よく高評価



先月、市が重点作物と位置づけているカボチャの集荷作業があり、今年も主に関西圏の市場へ出荷されました。およそ 200 人の生産者が食味良好の“えびす”と、甘みの強い“味皇”の 2 品種を栽培しています。今年は 4～5 L の大玉中心で味もよく市場の評価も上々でした。

国内の主力産地はもちろん輸入品に負けない安全で高品質のものを提供することで、消費者に求められる「伊佐ブランド」となるよう期待し、生産拡大を図ります。

理科の面白さ、楽しさを学習



6 月 29 日、7 月 5 日に南永小学校で「蔵前理科教室＝くらりか」が開催されました。「くらりか」では、「身近な不思議を科学する」というテーマを掲げ、独自性のある特認校小規模校を対象に活動を展開しています。

同校では、昨年秋に続き 2 回目の開催で、今回は全校児童で連結ロボを作りました。高学年が「光センサー」、3～4 年生が「電位ボックス」、低学年が「貨車」を担当し、児童達は与えられたそれぞれの役割を夢中になって取り組んでいました。授業の最後には、自分達で作った連結ロボでタイムレースを行い、盛り上がっていました。

今回作成したロボットは、9 月 2 日まで黎明館で開催されている「ロボットランド」の会場に展示してありますので、ぜひご覧ください。